

# 特別支援教育研究論文集

—令和7年度 特別支援教育研究助成事業—

研究協力：独立行政法人国立特別支援教育総合研究所

特別支援学校(知的障害)における  
「年間指導計画作成ツール」の実施と検証  
— 小学部音楽科を事例として —

静岡県立掛川特別支援学校

教諭 松浦 正人

令和8年3月

公益財団法人みずほ教育福祉財団

## 要旨

本研究は、特別支援学校（知的障害）小学部音楽科において、学習指導要領に基づいた年間指導計画および授業づくりが、教員個々の経験や力量に委ねられている現状に着目し、その改善を目的として実施した実践研究である。特に、音楽を専門としない教員が多い学校現場において、学習指導要領の内容を授業実践へと具現化する手立てが十分整っておらず、授業構想に困難を感じている実態を課題として捉えた。

一方で、文部科学省著作教科書（以下、☆本）は、学習指導要領の内容を具体的な題材や学習活動として示しており、これらの課題を解決し得る教材であると位置付けた。そこで、本研究では、学習指導要領の内容に対応付けて編纂されている☆本に着目し、これを効果的に活用することで、年間指導計画作成から授業構想までを支援する「年間指導計画作成ツール」を開発し、所属校の小学部において試行的に活用した。

ツール導入後、作成された年間指導計画の内容分析および教員を対象とした質問紙調査を通して、その活用状況と効果を検証した。その結果、年間指導計画における☆本題材の使用割合が大きく増加し、題材選択において学習指導要領を意識する傾向が高まったことが明らかとなった。また、授業構想や授業準備の場面において、☆本や教科書解説を参照する教員が増え、音楽を専門としない教員にとっても授業の見通しを持ちやすくなったことが示された。さらに☆本を介して授業づくりを検討する機会が生まれ、教員間で学習のねらいや活動イメージを共有しやすくなった点は、音楽科におけるカリキュラム・マネジメントの観点からも意義のある変化であると考えられる。

一方で、年間指導計画には題材名は明記されているものの、具体的な学習活動まで十分に記載されていない事例も多く、題材選択後の活動構想に難しさを感じている教員が少なくないことも示唆された。これを受けて本研究では、☆本の教科書解説を基に学習活動を整理し、学習指導要領との対応関係を可視化した「音楽科学習段階表」を新たに作成した。これは、題材名に依拠するのではなく、「どの内容を、どのような活動で行うか」という視点から年間指導計画や授業構想を行うための一つの試案である。

以上のことから、「年間指導計画作成ツール」は、☆本を媒介として学習指導要領と授業実践を結び付け、音楽を専門としない教員にとっても授業づくりを考える基盤を形成する役割を果たしたといえる。本研究で得られた知見は、小学部音楽科にとどまらず、☆本が整備されている他教科や中学部への転用可能性を有するものであり、特別支援学校における教科指導の計画作成支援の在り方に示唆を与えるものである。

キーワード：特別支援学校 音楽科 年間指導計画作成ツール 文部科学省著作教科書  
授業構想